

なきごえ



1969



大阪市
天王寺動物園協会

動物の紹介 [第29回]

インドクジャク

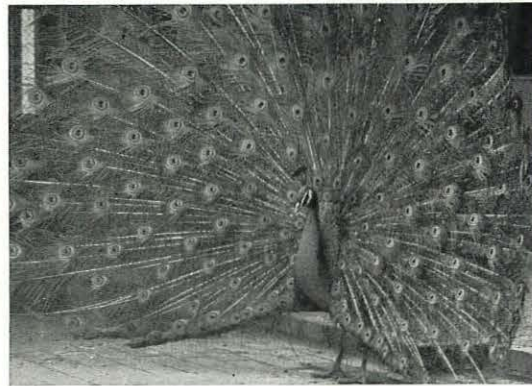
キジ目 キジ科

この鳥は美しいので、古くから家禽として世界的に飼われています。我国にはベトナム、タイに住むマクジャクが奈良朝時代から輸入された記録があります。このインドクジャクはこれより少し遅れて輸入されました。

しかし今ではこのインドクジャクが全国的に圧倒的に多く飼養されています。

産地はインド、セイロン、アッサム地方で現在でもこれらの地方の森林の中に多く野生しています。

ご説明するまでもなく、クジャクの雄は眼のさめるような大変美しい飾羽根を持っています。この飾羽根を繁殖期の1月～4月には盛んにひろげて求愛運動(ディスプレイ)を行います。このひろげる羽根は尾羽に覆いかぶさるように生えている上尾筒と呼ばれてい



ます。羽根を広げたときによくご覧になるとほんとの尾羽が別にあることが分かります。

すべてのキジの仲間が毛換をやりますのでこの美しい、上尾筒も繁殖期が全く終わった7月下旬には完全に脱落してしまいます。それで7月～11月に動物園に來られてもあの美しい羽根は見ることは出来ません。10月下旬から徐々に生え出した上尾筒は11月に入ってから小さい乍ら一層鮮かさを増し、翌年の1月中には再びあの美しい上尾筒が完成して、ディスプレイを始めるのです。

産卵は4月頃から始まり7月頃まで続きます。大体7～8コと云うのが普通ですが一年間に130コも産卵したという報告がありますから、クジャクはキジの仲間ですが鶏のように最も家禽化して

いるといえると思います。卵のふ化日数はからだが大いので一般のキジ類の22日より少し長く28日かかります。

餌は、養鶏用の配合飼料を200gも与えれば充分ですが、繁殖を計るのには、ニンニク、玉ネギ、煮魚粉などカロリーの高いものを追加して、卵殻を作るカルシウムの補給にボレー末(貝殻)を充分に与えてやるようにしてやって下さい。

最近動物園や遊園地ではこのクジャクを放し飼いにするところが多くなってきました。クジャクの上尾筒は豪華な打かけを着たお姫様を連想させますので、私はお城を背景に放し飼いをするのが最も良いように思います。

本文の最初に出て来たマクジャクは色調が少し異なるのとインドクジャクのように頭の上の冠羽が扇状にひろがらず房状になっています。性質もインドクジャクより少し荒々しいようで雄は人に向かって来るようなことがあります。

この他にシロクジャクというのがありますがこれは、インドクジャクの白変種を人意的に固定品種としたものです。

又、コクジャクという名の鳥がいますがこれはクジャクの近縁のものではありません。

(松岡 恵爾)

なきごえ 3月号もくじ

動物の紹介(インドクジャク).....	2
動物園の見方見せ方(I).....	3
動物園グラフ.....	4, 5
ペットを訪ねて(ヘビの赤ちゃん誕生(5)).....	6
動物園ニュース.....	7
冬の北海道の鳥をたずねて.....	7

動物園の見方見せ方 (I)

動物園といえば子供づれの親子、時に幼稚園か低学年の小学生たちがワイワイさわぎながら見て回る所位に考えられ高学年の生徒たちに敬遠されているのは小中高の先生方が教科書にとらわれ貴重な生きた教材の利用価値を知らないからで図鑑や文字の解説お話だけでは絶対に生物教育はできない。

動物愛護といっても野鳥や犬や猫を大切にしているだけのことではない。広く生命の尊さを自覚させてやるべき運動で、よく世界はひとつというのが全人類が人種を越えて皆兄弟であることを知らしめるにとどまらず、生きとし生ける物が総て一大家族であることを目の当り実感させる学習の場が動物園で又動物園の使命である。1809年2月12日にリンカーンとダーウィンが、地球上に誕生して人類の平和と進化の理論を教えてくれた。

動物に好き嫌いがあってはならぬ。どんな動物にも独特の魅力があり真剣な生活をしていて美しい愛すべき点をもちペットに値する。動物園は市民共有の愛玩動物の理想的飼育場である。近代的設備が見事に完成されて昔の見世物式監禁時代から住心地のよい楽しい彼等の家庭生活ぶりまで見られる実験生態学研究までできる名実共に動物学園に発展した。単なる娯楽教育機関でなく都会生活者に忘れられた大自然の傑作に直面させてくれる唯一のパラダイスであり、オアシスでもある。短時間に世界一周どころか南極から北極まで探検旅行をさせてくれる。

一種でもより多くの動物を知ることが愛すべきものが一つでもふえることはこの世に生れて幸なことである。動物の嫌いな人は人を愛する資格がない。動物を知ることが人を愛する道に通じると私は信じている。但し、ただ名前を知るだけでは知っているとはいえない。よりよく知ることはより愛情と親しみがわいてくる。幼稚園や小学校時代の知識が大人の常識であっては情ない。動物園の設備と動物に対する関心親近感の持ち方でその国の文化的水準が解りその人の教養程度が知れ

る。私は現在動物園の入場者が本当に動物を鑑賞してくれているとは思えない。

名札の解説は中学程度の常識で科学的な理解にとらわれず広く文学美術的な見方もしてほしい。知るだけでは何にもならぬ好きにならねばと誰かがいった。愛が最上の理解者ともなる。教室で先生自身がその動物を知らず愛せずして動物を愛せよとは教えられる。教育とは先生の情熱が生徒に感動を与えることで実を結ぶ。私が40年間も生物の先生を続けてこられたのは全く動物園があったおかげで私自身が頻りに通って撮影した生態写真による授業が楽しく興味があったからで少なくとも教え子たちはおもちゃの動物園の由来を一番よく知っていてくれると思う。私は動物が好きなくせに自分ではかわいそうで何も飼っていない。動物園や水族館におまかせして充分楽しめる。家庭で寂しいのでおもちゃがペットになっているだけである。

動物園は私のコレクションに比べていつでも同じでないのが魅力で生長繁殖が見られ時間的に天候や四季の変化もあり習性や行動表情に千変万化が見られる。死ぬ時もあるが新着動物があり毎度通っても必ず未だ見たことのない場面に会わずものである。一種の動物でも完全に知りつくすことは一生かかってもできない。それぞれ未知の世界を彼等自身が語ってくれるようになる。百回行って気づかなかったことを百一回目に解ることがある。書物にも記していない興味ある問題をつかむことさえある。それがとても楽しい。

『自然に学べ、書物に頼るな。』という生物学の旗じるしがここでは実にはっきりしてくる。生の実物から知り得たことが本当の生きた知識で自由観察させ生徒の好奇心から知識欲に発展させてやる。以下できるだけ動物園の見方見せ方の基本になる原則を具体的な事例で紹介御案内してみたいと思う。

寝屋川市池田
吉田平七郎
筆者……おもちゃの動物園長

動物園グラフ

“水辺の鳥たち”

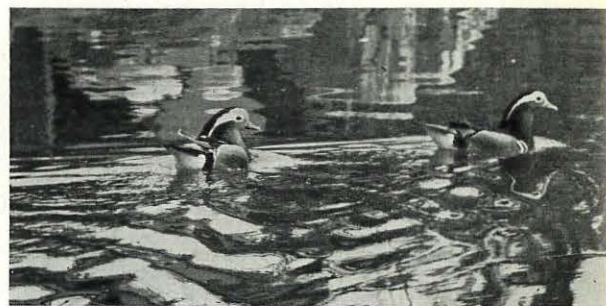
水ぬるむ春になりました。水辺で餌をあさったり、元気に水の中を泳ぎまわる鳥たちで水禽舎は急ににぎやかになってきました。



↑ ジョウジョウトキ
南アメリカにすんでいます。全身が緋色をしていてとても美しい鳥です。



↑ ツメバガン (右上)
始祖鳥にみられるような爪の痕跡があるのでこの名があります。



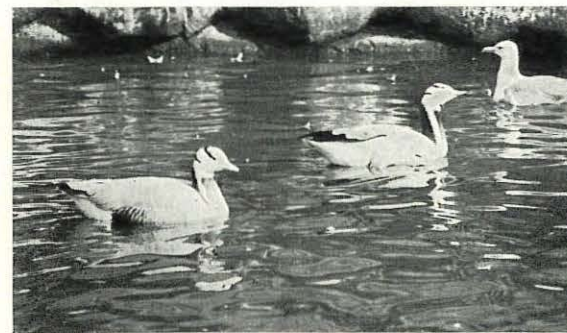
↑ オシドリ
冬に日本にわたってきて越冬します。昔から夫婦愛のこまやかな鳥として大変なじみ深い鳥です。



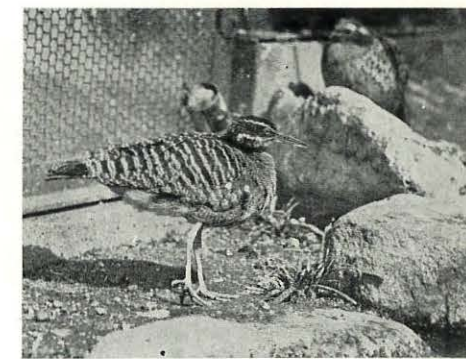
↑ ウ
ウ飼いで有名な鳥で、餌のアジを何匹も丸のみにしていきます。



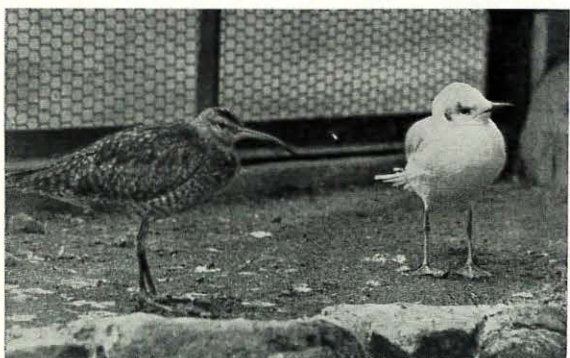
↑ オナガガモ
マガモ
一般的なカモで冬になるとびわ湖にも多くわたってきます。



↑ インドガン
全体に白い身体で、頭の2条のすじが特徴です。



↑ サンピタン
南アメリカにすんでいます。珍しい鳥です。



← ユリカモメ(右)
チュウシャクシギ(左)
ユリカモメは都鳥とも呼ばれて古くから和歌に詠まれています。夏羽になると頭が黒くなります。



← キンクロハジロとバン(手前)
キンクロハジロは卵をアイスランドよりとりよせ人工ふ化したものです。



← エジプトガン
毎年春になると卵をうみひなをかえします。わりに気の強い鳥で身体のかなガチョウも追いかけます。

2月動物園日記

- 2/4 先月15日に生まれたライオンの赤ちゃんは母親が授乳をやめたので引きとり育てることにしました。しかし、2月12日早朝急性肺炎で死んでしまいました。
- 9 今年3回目のニューカッスル生ワクチンの投薬を鶏類

- に実施しました。
- 16 クマタカやノスリの足にできた趾瘤を治療してやりました。
- 17 カンガルーが軽い放線菌症になっているので治療につとめています。
- 19 ブラックバックが生まれました。

- 20 アグーチが1頭生まれました。
- 23 寒さがぶりかえし、夜に降雪がありました。
- 24 リカオンのおすが急死しました。急性の腸炎と肝炎でした。
- 25 エジプトガン、ハクチョウが営巣し、卵をあたためています。

- 28 フサホロホロチョウ2羽が寄贈されました。

☆ ☆ ☆
☆ ☆

ペットを訪ねて

ヘビの赤ちゃん誕生 (5)

大阪府守口市梅園町56

伊丹 啓祐 さん

次に温度ですが、ヘビの最適温度は22度から30度で、湿度は65~70%です。だから冬にヘビを飼うには暖房装置が必要です。簡単なのは飼育箱ごと暖房された室におけばいいのですが、ガスストーブ、石油ストーブ等、排気ガスが出るものはいけません。その点、電気が一番よいのですが日本の住宅ではやや無理でしょう。そこで飼育箱にヒーターを取りつけるのですが、この詳細は後で述べます。……夏は風通しをよくしてやりませう。直射日光は絶対にいけません(カメは別ですよ)人がおっても水を飲んだり食事をしたりするようなヘビはもうそれだけでペットとしては最高のものですから大切にやりませう。以前、しまへびの一匹がよくつき、私の手にだかれながら水を飲んだりしましたが、こんなのは奇跡的存在です。

飼育箱について

最も手取り早いのは、今流行の熱帯魚の容器をいいます。上部はわづかな隙間もないように、木枠に目の細かいビニール金網を張ったフタを工作し、施錠します。油断してはいけませんよ。これ位の隙間ならと気を許す事は大の禁物。1メートルのヘビは5ミリの隙間があれば楽々と逃げる能力を待っています。子へびならなおさらのこと。又、へびは仲々に力待ちで1.5~1.7メートル位の青大将に首を巻かれますと大鷲関ならいざ知らず私ならば軽くあの世行です。ほんの尻尾の先で手指4本巻かれても開くことは出来ません。飼育箱は木製でよろしいから、こんなに頑丈にしなくとも、と思われる程丈夫にしていねいに作ります。又、へびはよく水を飲みますから、必ず、別の器に清水を入れておいてやりませう。又、暑い時には水浴もしますので、大きい器に清水を満しておきます。それからへびは、どうも人に見られたり、いじられたりするるのが苦手らしく常に隠れようとしますから、飼育箱にはそうした隠れ場所を

こしらえてやりませう。といつて別に大それた事はいりませぬ。ボール箱の一方を切ったものをおくだけでもよく、棚にカーテンをつつてもよく外部より布切をかぶせてもよろしい。それからいづれの動物もそうですが、へびも案外きれい好きですから糞便の始末は、こまめにやりませう。又、水中に糞をしますからすぐにきれいな水と取りかえてやりませう。次は暖房装置ですが、暖房箱は保温上、木で造った方がよろしい。熱が逃げないように丁寧に工作します。但し、空気穴は必要です。そして片隅にヒョコ電球60ワットを取りつけ、サーモスタットで22度から30度を保つように調節します。

この発熱部は別の小箱に装置して飼育箱に入れますとよろしい。飼育箱には必ず寒暖計を取りつけ、常時、目盛に注意します。少々、温度が下っても差支えありませんが温度の上りすぎは大切なへびを死に至らしめます。亦、長時間、外出するような時は、必ず電源を切っておきませう。尚、冬といえども暖房してある以上、運動もするし、食事もします。勿論、糞もしますから、よく面倒を見てやりませう。ヒョコ電球がなければ、普通の白熱電球の60ワットで結構です。尚、飼育箱の内容が1立方メートル大につき1つがい飼うのがよろしい。一つの箱にたくさん入れますと餌を取り合いますので飼育上の立前からよろしくありません。あなただつて6帖の室に10人も寝起きさせられるのは嫌でしょう?。往々にして赤ん坊が死んでいますね。へびも同じ事。大きいへび、小さいへびの多数雑居は必ずといってよい程、小へびの方が圧死します。(つづく)

(中川 道朗)

表紙の写真説明

“カツオドリ”

熱帯から亜熱帯地方の島々の沿岸にすんでいます。鯨の群がいるところによく見られますのでこの名があります。この鳥は動物園にきてからもう9年になります。

動物園ニュース

☆は虫類館とバーバリーシープ丘

の建設を計画

44年度には虫類館とバーバリーシープの建設予算が認められこの設計を急ぐことになりました。従来よりへび、ワニ、トカゲなどは恐いもの見たさで人気があった上に、近ごろの怪獣ブームでさらに人気上昇しています。これまで、十分な設備がなかったので、その建設が望まれていました。開館は45年1月の予定です。

☆動物園事務所新築工事

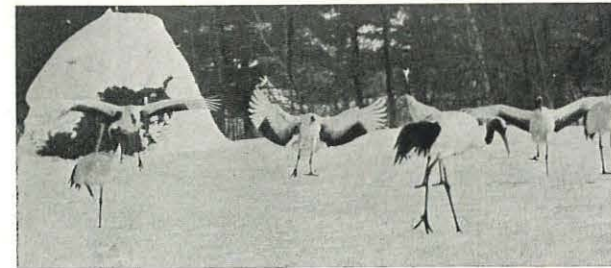
開園当初よりの事務所の建物は老朽化がはげしくなってきましたので、このほど建てかえることになりました。新しい建物はすぐ隣りで鉄筋コンクリート1階建て240㎡、約1200万円の予算です。完成は5月の予定です。

× × ×
× ×

冬の北海道の鳥をたずねて

2月2日 新大阪を出発し東京の上野動物園を駆け足で見て回った。上野は大東京の中心であるにもかかわらず多種の鴨が何千となく不忍池に泳いでいる光景はなんともうらやましいかぎりであった。

札幌には3日について円山動物園を見学した。雪まつりも少し見て帯広に向った。帯広動物園では園長に鹿や熊の肉をごちそうになつて、いよいよ鶴の釧路に出発した。4月阿寒湖行き



のバスにのり込み、丹頂鶴の最も多く飛来する山崎さん宅付近で写真撮影や観察することにした。たんちょうは大正12年釧路地方に

いることが発見され、昭和10年天然記念物に、同27年特別天然記念物に指定された。山崎さんは昭和25年ごろから餌付をされています。当時は10羽程度しか飛んでこなかったのが毎年増えて現在では100羽近く飛来しています。

釧路のたんちょうは、今日200羽と推定され、冬には半分の100羽が山崎さんの所に餌をひろいにきて残りの

鶴は中雪裡、鶴居村、鶴公園などで餌をとっている。春になると湿原に帰り巣を作って雛を育てます。

5日、夜が明けてみると昨夜からの雪で積雪が1m以上あった。この日は一日中雪が降りつづいていたが、雪の中をつるのねぐらの阿寒川に撮影に出かけていった。

つるは川にいたが、我々に気づきすぐ飛びたってしまった。非常に警戒心の強い鳥である。

7日 阿寒湖を見て次の目的地である白鳥台へと向つた。根室標津からバスにのって8日午後についた。ここにはシベリアから1万以上のオオハクチョウが飛来している。

9日、夜明け前に白鳥を写していると真紅の太陽が水平線に上ってきた。それから網走へ行って流氷まつりを見た。その帰り汽車の中から外を見ていると銀世界の中にきつねが一匹我々の旅の最後を見送っていった。

9日、夜明け前に白鳥を写していると真紅の太陽が水平線に上ってきた。それから網走へ行って流氷まつりを見た。その帰り汽車の中から外を見ていると銀世界の中にきつねが一匹我々の旅の最後を見送っていった。

(東 政 宏)

× × × ×

なきごえ 昭和44年3月15日発行（毎月1回15日発行）第5巻第3号（通巻45号）

編集人 / 加藤寿雄 発行所 / 社団法人大阪市天王寺動物園協会

大阪市天王寺区玉水町2

電話 大阪 771-0201

印刷所 / 株式会社 松村善進堂

定価 40円

